

12月定例会のあらまし 市長提出議案の主な内容	1
一般質問	2～5
審議された議案と議決結果 陳情の審議結果 特別委員会から	6

No. 244

平成31年(2019年)2月10日
発行/青梅市議会
電話番号/0428-22-1111(代)

平成30年市議会定例会 12月定例会

青梅市組織条例の一部を改正する条例など 全39議案を可決または同意しました



〔圏央道青梅インターチェンジから見た今井4丁目付近〕

4月から組織改正により「拠点整備部」が新設され、青梅インターチェンジ北側周辺の物流拠点などの地区整備事業の円滑な推進が期待される。

12月定例会は、12月3日から18日までの16日間の期間で開催され、初日の本会議では、議案審議、陳情審議が行われた後、一般質問が始まりました。一般質問は、12月3日、4日および5日の3日間にわたって行われ、19人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(2～5面に要旨を掲載)。

12月定例会に上程された市長提出議案は、平成30年度の補正予算2件、条例13件、契約5件、財産2件、人事1件、その他15件の全38件でいずれも原案どおり可決または同意されました。また、議員提出議案は意見書1件で、原案どおり可決されました(6面を参照)。

また、審議された陳情3件は、結論が得られました(6面を参照)。

市長提出議案の 主な内容

■青梅市組織条例の一部を改正する条例(施行日〓平成31年4月1日)

青梅インターチェンジ周辺地区における地区整備事業の円滑な推進を支援するため、部を新設するほか事務分掌の見直しを行うとするもの。

〔改正の内容〕

新たに「拠点整備部」を設置するとともに、その事務分掌を「青梅インターチェンジ周辺地区整備に関する」とし、また、事務分掌の見直しとして「交通対策に関する」とし、「経済スポーツ部から都市整備部に移管する」。

■青梅市墓地公園条例(施行日〓平成31年4月1日)

青梅市墓地公園内に新たに樹林墓地を設置し、その使用等に関し必要な事項を定めるとともに区画墓地の使用等に関する規定について見直しを行うため、青梅市墓地公園条例の全部改正を行うとするもの。

〔全部改正の内容〕

第1章の総則では第3条において区画墓地および樹林墓地の定義を追加する。第2章では区画墓地に関する規定として、第5条で使用申込者の資格を見直すほか、第8条では使用許可の手続を、第12条では墓碑等の設置の義務付けを、第13条では焼骨の埋蔵に関する規定を追加する。第15条では使用権の消滅に関する要件を、第17条では管理料を納付しない場合の使用許可の取消しおよび使用許可

を取り消した場合の原状復帰に関する規定を追加する。第3章では樹林墓地に関する規定として、第18条で使用許可を、第19条で使用申込者の資格を定めており、樹林墓地については現に焼骨を持つ方と焼骨を持たない方、いわゆる生前申込みの方に区分して、その資格を定める。第20条から第22条では使用申込者の公募、選考の方法および使用許可の手続を、また、第23条では樹林墓地の使用料を13万1千円と定めるとともに第24条から第28条までの規定において樹林墓地の使用に

関し必要な事項を定める。第4章では無縁墓地について、第5章では雑則に関する規定について見直しを行うほか、併せて所要の規定の整備を行う。

議員提出議案の内容

■森林環境税の活用に関する意見書

東京都に対し、森林環境税および森林環境譲与税に関して、東京都民、東京都の森林のために活用されるよう、次の事項に取り組むよう強く求める。

- 1 都内区市町村の譲与税の活用に関する担当窓口を設置すること。
 - 2 都内の区市町村に交付される譲与税が、多摩産材など東京都の森林のために活用されるよう積極的に働きかけること。
 - 3 東京都に交付される譲与税を活用し、林業従事者育成のための諸施策を強化すること。
- *意見書の全文は市議会ホームページでご覧になれます。

議会日誌

〔11月〕
22日 総務企画委員会
議会運営委員会
〔12月〕
12月定例会
議会期間12月3日～18日
(16日間)

3日 議会運営委員会

本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、議案審議、陳情審議、一般質問)

4日 本会議(一般質問)

5日 本会議(一般質問)

10日 環境建設委員会

総務企画委員会

福祉文教委員会

11日 総務企画委員会

福祉文教委員会

12日 予算決算委員会

全員協議会

東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会

総合病院建替特別委員会

議会運営委員会

18日 本会議(委員会議案審査報告、委員会陳情審査報告、議案審議、閉議)

福祉文教委員会



ゆめ・うめ・おうめ
LINEスタンプ



質問

議員名の()内の表示は、会派名または党派名です。
(自 民) …自民クラブ
(公 明) …公明党
(フォーラム) …改革フォーラム
(共 産) …日本共産党青梅市議員団
(国 民) …国民民主党
(みどり) …みどりのオンブズマン
(市 民) …市民自治青梅

風水害による浸水被害の軽減に向けた「土のうステーション」の設置について問う 工藤 浩司 議員 (フォーラム)

議員 ①土のうステーション設置の考えについて伺う。
②市全体の浸水対策を現時点でどのように捉えているか。
③緊急時の土のうの入手方法についてホームページに掲載しているか。

市長 ①現在市役所周辺の駐車場と今井3丁目会館東側に土のうを保管している。土のうステーションについては、他市の取り組みを参考に研究していく。

議員 ④モデル地区を設定し、土のうステーションを設置する考えはないか。
⑤既存排水施設の機能維持および、気象情報等の早めの周知が大切と考え、道路側溝等の清掃やパトロール等を実施しているか。
⑥今後掲載していくか。
⑦今井の保管場所を一つのモデルとして捉え、今後も自助、互助による浸水対策への支援に努めていくか。

市内の学校体育館等の冷暖房設備について問う 湖城 宣子 議員 (公明)

議員 ①近年の夏の体育館の状況と熱中症になった児童・生徒について伺う。
②青梅市を除いた多摩25市の体育館の空調設備設置率を伺う。
③教育の場、また避難所として体育館の冷暖房設備についてどう

市長 ③避難所を開設した際は、冷暖房機器等の配備を含め、民間企業等との連携も視野に対応を図っていく。

「青梅市商・工業振興プラン」に基づく、販路拡大支援状況と市民の買い物環境の向上について問う

議員 ①出張、宅配サービス等実施事業者の案内チラシの現状について伺う。
②事業者の情報を青梅市くらしのガイドに掲載してどうか。
③北部、西部地域の住民への実態調査を行ったのか。
④今年度の新たな買い物環境向上施策はあるか。

市長 ①商工会議所と連携し、市内事業者へ行ったサービスの実施状況等のアンケート結果を案内チラシとして作成中である。②来年度の掲載には間に合わなかったが、次回は掲載できるような努めていく。

御岳地区の観光の振興について問う

議員 ①今年の御岳溪谷紅葉のライトアップ実施の経過を伺う。
②実績、市の評価、今後の取り組みを伺う。
③今後の御岳地区の観光振興への具体的な取り組みを伺う。
④改修等の実施による観光振興への効果をどう捉えているか。

市長 ①(公財) 東京観光財団の「秋のライトアップモデル事

得て、北部地域の住民に対し、買い物サービス利用希望等のアンケート調査を実施した。
④商工会議所や事業者等と連携し、新たな方策を含め、取り組みについて検討していく。

議員 ①用地交渉状況、進捗状況について伺う。
②完成時期について西多摩建設事務所との意見交換が必要では、③早急な整備に対する市長の考えを伺う。

市長 ①一部区間では取得が進んでいるが、いまだ未買収の土地が点在している。行政連絡会にて西多摩建設事務所へ早期整備の要請を行っている。
②西多摩建設事務所では用地取得に向け、丁寧かつ慎重に交渉を進めており、その意向を尊重し、地域の理解と協力の上で進められることが現時点では適切に対応できると捉えている。
③安全で安心に利用できる道路環境の整備が早期に実現するよう、今後も西多摩建設事務所に対し早期完成を強く要請するとともに、引き続き地域の理解と協力をお願いしていく。

公共施設建てかえ等に伴う利用者の代替措置について問う —旧市民会館及び東青梅市民センター利用者のために— 結城 守夫議員 (公明)

議員 ①旧市民会館を建て替え文化交流センターが開業するまでの間は、市公共ホールは利用できない。代替施設として西多摩地域のホールを利用した場合、従来の使用料との差額を、7万円を上限として年一回助成しているが、文化交流センターホールの定員は271名であり、それを超える観客数の公演は、旧市民会館ホール(定員595名)では可能だったものが実施できなくなる。要綱を改正して、助成制度を延長するべきである。
②当該複合施設内に、東青梅市民センターが合築された場合、現行利用者へのサービスが不足するときは、代替措置として、

④観光客の利便性の向上に寄与すると捉えている。市としても関係団体との連携をさらに深め取り組んでいく。

今井3丁目及び周辺地域の浸水被害対策について問う

迫田 晃樹 議員 (自民)

議員 ①矢端川調整池の機能、能力について伺う。
②浸水被害対策についての考え

市長 ①上流域に降った雨を一時的に貯留し、矢端川の水位が下がるのを待つて自動的に排水する機能があり、1時間当たり40ミリ程度の降雨に対応できるよう計画整備されている。
②矢端川沿いに新たな調整池の設置を検討している。
③事業計画が具体化する中で適切な対応が図られるものと認識している。市としても都、近隣自治体と協議していく。

市長 ①雨水浸透施設補助金は、住宅の屋根に降った雨水を地下に浸透させるための浸透ますや浸透トレンチの設置について、

④企業、事業者が設置する場合、費用が高額になること、国の社会資本整備総合交付金の対象とならないことから、実施は難しいが、課題と捉えている。

用語の解説

- 注1…ケミコン跡地** (2ページ・結城議員)
以前日本ケミコン株式会社の本社があった土地で、平成19年に市が取得した。東青梅1丁目地内諸事業用地として隣接する健康センター等のある市有地と合わせ、利活用等について検討している。
- 注2…EPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)** (3ページ・山内議員)
出産直後の母親に対し、うつ病によくみられる症状10項目について質問したもの。その回答を点数化し、リスク判定する。
- 注3…サイクルアンドバスライド** (4ページ・みねざき議員)
自宅からバス停まで自転車を活用することにより、アクセスの向上をはかる施策。
- 注4…ATワンペダル** (4ページ・片谷議員)
オートマチック車のアクセルとブレーキを一体化させたペダルで、アクセルの踏み込み動作を変えることで、踏み間違い等を抑止するもの。
- 注5…シビックプライド** (4ページ・片谷議員)
「都市に対する市民の誇り」という概念で使用されることが多い。「郷土愛」と類似した言葉だが、「郷土愛」が単に地域に対する愛着を示す言葉であることとは異なり、自分自身が地域と関わり、地域を良くしていく、当事者意識にもとづく自負心を含んでいる。

市役所会議室を目的外使用許可の手法により利用可能としては、
教育長 ①要綱を改正した上で、観客数271名を超える利用の場合には、今後も助成を行っていく。助成期間はケミコン跡地に建設予定の複合施設に大ホールが開業するまでと考えている。
市長 ②現行利用者への負担を最小限に軽減する。その際、目的外使用許可の手法も研究する。

議員 ①市は、既存保育園30園を伺う。
②今井4丁目の開発が始まった場合、雨水対策が必要となると考えるか。
③今井4丁目の開発が始まった場合、雨水対策が必要となると考えるか。
④今井4丁目の雨水対策に合わせ3丁目の追加対策を考へては、

市長 ①制度の概要を伺う。
②一戸建て住宅に雨水浸透施設を設置する場合の標準的な設置数、費用はどの程度か。補助制度の実績はどうか。
③上限金額を改め、活用を広げべきだと考えるか。
④企業、事業者向けに同様の補助制度を設けてはどうか。
市長 ①雨水浸透施設補助金は、住宅の屋根に降った雨水を地下に浸透させるための浸透ますや浸透トレンチの設置について、



震災等災害時・非常時における 通信手段としての公衆電話の 設置について問う

島崎 実 議員 (自民)

議員 ①災害時、非常時に、優先的に取り扱われる、公衆電話の果たす役割をどう認識しているか。

②市の施設への設置状況は。
③市内全域の自治会館へ設置を拡大する具体策を検討するべきではないか。
④公衆電話の使用を含め、災害時、非常時の通信手段についてどのように周知していくのか。

「青梅都市計画道路3・4・13号線」の整備について問う

天沼 明 議員 (自民)

議員 ①事業の概要、これまでの経過と進捗状況を伺う。
②都の取り組みの状況と今後について伺う。
③この事業に対する市長の思いを伺う。

市長 ①市の東端部に位置するこの道路は昭和42年に都市計画道路として計画決定されており、28年3月に東京都、区部および多摩部の自治体協議により策定された「東京における都市計画道路の整備方針」において優先整備路線に抽出されている。道

路延長約3・4キロメートルの内、現時点で1・47キロメートルが完成している。未整備区間は2つの区間に分けられ、青梅街道以北の区間は青梅市と瑞穂町にまたがることから、東京都が実施主体に、青梅インターチェンジ以北の農業振興地域内の区間は市が事業主体となっている。

市内保育園の課題、定員割れ 保育園への対応について問う

議員 ①認可保育園が2園増えることで西部地区保育園の定員割れが拡大するのではないかと懸念している。定員割れに対する今後の施策について伺う。

市長 ①待機児の9割が東部地区居住であり、自宅近くの園を希望しているため、西部地区へ

路延長約3・4キロメートルの内、現時点で1・47キロメートルが完成している。未整備区間は2つの区間に分けられ、青梅街道以北の区間は青梅市と瑞穂町にまたがることから、東京都が実施主体に、青梅インターチェンジ以北の農業振興地域内の区間は市が事業主体となっている。②東京都西多摩建設事務所では、事業化に向け現地調査等に着手しており、調査の中で浮かび上がった課題の解決に向けて取り組んでいるところである。早期事業化に向けて作業を進めていく考えと伺う。③産業界の活性化や利便性の向上に大きく寄与するものと認識している。引き続き西多摩建設事務所に対し早期事業化を要望するとともに、青梅市と瑞穂町で情報交換を密に行い、足並みをそろえて、整備実現に向けてさまざまな面から協力していきたいと考えている。

の影響は少ないと考えている。②入所相談では、居住地の保育園だけでなく、西部地区の保育園ならではの環境のよさ等について説明し、入所を案内している。保育園と積極的に意見交換を図り、今後も保護者のニーズや家庭の状況を細かく聴取する中で、さまざまな情報を提供し、定員割れ保育園の充足率向上に努めていきたい。

法人市民税の安定確保・増収 施策と企業誘致について問う

議員 ①20年のリーマンショック前後と近年の法人市民税の推移を伺う。

市長 ①待機児の9割が東部地区居住であり、自宅近くの園を希望しているため、西部地区へ

幼稚園類似施設も 就園奨励費の対象に —幼児教育無償化の対応—

山内 公美子 議員 (公明)

議員 ①市内の幼稚園類似施設であるもみの木幼児園を市単独事業として就園奨励費の対象とする考えはあるか。また、対象にした場合の費用負担を伺う。

市長 ①もみの木幼児園は国の制度である就園奨励費補助金の

積極的に企業誘致活動を進めていただきたいがどうか。
市長 ①最高額は19年度の27億円余、最低額は21年度の4億9000万円余である。近年は、28年度は8億1000万円余、29年度は11億3000万円余と推移している。

妊婦の健康診査について問う

議員 ①国の産婦健診の概要と市の産婦健診の現状を伺う。

市長 ①もみの木幼児園は国の制度である就園奨励費補助金の

対象となっていないが、近隣の状況を把握し検討していく。また対象とした場合、20人分で年額約250万円の負担である。②具体的な制度設計を行っている段階だが、現時点では幼稚園類似施設は無償化対象外である。③全国市長会としては財源等への要望のみで、類似施設の無償化についての要望はしていない。④他自治体の状況等も調査し、補助金について検討する。就園奨励費を補助する場合は、国や都へ財政負担の要望を検討する。

ケミコン跡地の新市民 ホールへの市民の 期待にどう応えるか

ひだ 紀子 議員 (みどり)

議員 ①パブリックコメントではひな壇式ホールを望む意見が多かった。どう考えるか。

市長 ①産後うつ等の予防のため、EPDSを活用し、産後2週間など出産間もない産婦へ実施する健康診査に対し、国が助成する事業である。市では現在3・4カ月健診に併せ産婦健診を行っている。

定された方への働きかけは。④産後うつ等の早期発見に向けた今後の取り組みについて伺う。⑤行政職員の産後うつに関する知識習得への取り組みを伺う。
市長 ①産後うつ等の予防のため、EPDSを活用し、産後2週間など出産間もない産婦へ実施する健康診査に対し、国が助成する事業である。市では現在3・4カ月健診に併せ産婦健診を行っている。

ことには承知している。
②市民意見の聴取、市政への反映は市政を進める上で最も基本的な姿勢であると認識している。今後も、特定の利用者に偏ることなく広く意見を伺っていく。
③平土間式は多様なニーズに対応できる汎用性の高いものである。運用コスト等も留意しながら、利用しやすいホールとなるよう研究を進めていく。

小中学生が自ら考え —いじめ問題から 教育を見直す—

議員 ①事件の直後、学校がSNS等の削除を求めた件は、か

市医師会へ協力依頼をしている。都が定める実施要項の基準に沿ってさまざまな選択肢の中から最適な形で実施できるように課題を整理する等検討しているが、施設や収支の問題もあり実施に至っていない。今後も早期実施に向け取り組んでいく。

必要に応じてどう考えているか。②実施に向けた検討経過と実施されていない理由を伺う。今後事業をどう進めていくのか。
市長 ①保護者からの要望もあり、子育てしやすい環境を整えるためにも必要性は認識している。子ども・子育て支援事業計画に基づき、実施に向け努力している。

であった。また同時に多くの情報が見失われた。この点について教育委員会の考えを伺う。
②千代田区立麹町中学校では、子どもが自分自身を客観的に捉え、自律と多様性を学んでいく教育へと改革に取り組んでいる。青梅市も学んではどうか。

青梅市の観光振興について問う

議員 ①現状の施策を伺う。

市長 ①現状の施策を伺う。

市医師会へ協力依頼をしている。都が定める実施要項の基準に沿ってさまざまな選択肢の中から最適な形で実施できるように課題を整理する等検討しているが、施設や収支の問題もあり実施に至っていない。今後も早期実施に向け取り組んでいく。

学校改善に取り組んでいく。
商工会議所に貸している土地の売却について問う
議員 ①長年にわたり無償で貸してきたが、覚書を交わし、25年に売却が決まっていた。しかし買い取り期限直前に覚書は反故となり、それ以降市は賃料半額減免で貸している。売却に向けた協議を始める考えはあるか。
②市の財政状況からも売却すべきと考えるがどうか。

病児保育の促進について問う

議員 ①必要性についてどう考えているか。

市長 ①現状の施策を伺う。

市医師会へ協力依頼をしている。都が定める実施要項の基準に沿ってさまざまな選択肢の中から最適な形で実施できるように課題を整理する等検討しているが、施設や収支の問題もあり実施に至っていない。今後も早期実施に向け取り組んでいく。



中学校の部活動指導員制度の普及と現状について問う

阿部 悦博 議員 (自民)

議員 ①外部指導員と部活動指導員の違いおよび、部活動指導員導入に向けた現状を伺う。
②部活動指導員の研修制度および報酬について伺う。
③保護者等からの意見、クレーム等に応じられるセクションが必要と考えるかどうか。また、人材確保において体育協会や各種スポーツ団体との連携が必要ではないか。

④将来的ビジョンについて伺う。
教育長 ①外部指導員は顧問教員の指示のもと補助的な役割を担うのに対し、部活動指導員は、単独で顧問になり、顧問教員と同等に指導を行うことが可能である。教育委員会において面接審査を行い、本年11月1日現在7校で9名を雇用し、指導を行っている。

②「運動部活動の在り方に関する方針」に関する研修の実施、都教育委員会の研修への参加体制を整えている。報酬は10月1日現在時給985円である。
③保護者からの意見等は、まずは学校での対応が適切と考える。人員確保は現在学校ごとに地域への働きかけや顧問等の人脈等に対応している。体育協会等との連携は、専門的な指導等が期待できるため、学校等の要望を踏まえる中で推進していく。

④部活動指導員を増やし、教員自身が部活動顧問を自由に選択できる体制や、生徒においては専門的な指導による技術の向上が図れる体制を確立していくことが今後の目標である。

高齢者の交通対策について問う

片谷 洋夫 議員 (国民)

議員 ①高齢者の交通事故の傾向と対策、運転免許返納の状況について伺う。
②ATワンペダルの整備費用に対する補助を検討してはどうか。

市長 ①高齢者が関わる交通事故は29年で146件、30年は10月末までで123件発生しており、昨年同時期と比較して増加している。対策としては青梅警察署と連携し、高齢者のための

交通安全教室を毎年実施する等啓発を行っている。青梅警察署運転免許更新事務所においては、毎年一定の高齢者が運転免許返納を返納している。自主返納については青梅市としても青梅警察署と協力しながら啓発に努めていく。
②高齢者の交通事故防止対策として、ペダル踏み間違え時加速抑制装置等を装備した安全サポート車の普及等、技術革新が進められる中、補助については他の自治体の動向等を注視していく。

シビックプライドの醸成について問う

議員 ①シビックプライド醸成への市の取り組みおよび子どもたちの市への愛着、誇りを育む取り組みについて伺う。
②人口減少を少しでも抑えるよ

う、シビックプライドの概念を取り入れ、施策に取り組むべきだと考えるが市長の見解は。
市長 ①さまざまなまちづくりの場面で個々の取り組みはシビックプライドの醸成に資すると理解している。子どもたちへの取り組みとしては、小学校3・4年生を対象に市の地理や歴史等を紹介するほか、「青梅学のすすめ」と題し、青梅の特色を生かした授業を行っている。
②本市では従来からシビックプライドの意識が根付いており、

市民と市長との懇談会を踏まえて一子育て、高齢者福祉、ラフティング問題などの対策

藤野 ひろえ 議員 (共産)

議員 ①懇談会の実施状況は。②保健福祉センター廃止に反対意見が多く寄せられたと思うが、再検討すべきでは。
③ラフティングについての意見や苦情に対する取り組みは。
市長 ①従来形式を6市民センターで、子育て世代向けを子育て支援センターで実施した。子育て世代との懇談会が特に好評で、建設的な提案も多かったことから、引き続き開催していく。

②厳しい財政状況の中、公共施設全てを維持していくことは不可能である。今後は市民センターや自治会館等での介護予防を広めていきたいと考えている。
③東京都が、河川利用者の調整を行う法定協議会の設立を進めており、青梅市も参画し、関係者による利用調整が進むよう取り組んでいく。

国民健康保険税の引き上げはやめて、減免制度充実など安心できる医療保険制度を

議員 ①今年度国民健康保険税の5%の値上げへの反応、苦情はどうか。
②平均所得105万2000円、平均保険税7万9000円、滞納の状況から、その認識を伺う。
③来年度の市の保険税値上げの動向と財政健全化計画は。
④子どもの均等割減免制度の独自実施を求めるかどうか。

⑤国、都へ保険引き下げの支援を要望するとともに、市でも努めていただきたいがどうか。
市長 ①納税通知書を発送した7月の問い合わせは378件で、税額の増減理由や支払い方法等、昨年と同様の内容であった。
②低所得者への負担軽減策を講じ、収入未済額も減少しており、過度な負担とはならず、理解いただいていると認識している。
③31年度は税率改定の予定はない。赤字繰入れの解消計画は策定したが、国保財政等を検証しながら適切に対応していく。
④少子化対策として国の責任での実施が望ましいことから、市長会を通じて国に要望している。
⑤国の負担割合の引き上げ等と都の独自の財政支援は、市長会を通じて要望している。なお、30年度改定では、議員提案により応能割を多くし、低所得者への負担増とならないようにした。

文化振興について問う

議員 ①文化振興に関する市の取り組みを伺う。
②多摩26市の文化振興に関する条例等の制定、地方文化芸術推進基本計画の策定の状況を伺う。
青梅市でも制定や策定が必要と考えるかどうか。
教育長 ①「青梅市教育委員会の教育施策」に基づき、郷土博物館や美術館では、文化財の保護・普及活動を行ったり、特別展や企画展等を開催している。また、教育委員会では、芸術文化奨励賞等の交付や青梅市文化団体連盟へ委託し総合文化祭を開催している。
②多摩26市の中で、条例は八王子市や立川市等7市、指針等は町田市等3市が制定している。

新市民ホールの平土間式及びコンベンション等への考え方について問う

田中 瑞穂 議員 (市民)

議員 ①西の風新聞に、市と青梅市文化団体連盟でホール形態に対する意見対立が続いているとの記事が掲載された。このことについての市長の見解は。

②コンベンションやバンケットがうまくいくと考える根拠は。
③記事では市の説明や文化団体の意見を聞く機会が不足しているように読み取れるがどうか。
④市民との意見交換の場を設けるべきではないか。
市長 ①30年8月に文化団体連盟から市に提出された要望書は平土間式ホールを前提とした内容となっており、意見対立はないと認識している。
②コンベンションやバンケットに限らず多用途で利用可能にすることで稼働率が高まり、市の負担を軽くできると考えている。副市長 ③ワークショップやパブリックコメントを実施し、幅広く意見を伺う機会を設定した。その中で変化に柔軟に対応できる建物や自由度の高い広場を求める意見があり、平土間式ホールは、市民意見を反映した内容だと考えている。
④ぶらっとカフェや出前講座等

公共施設を30%削減する計画の見直しについて問う

みねざき 拓実 議員 (共産)

議員 ①現在の東青梅市民センターがある場所は災害時の避難に関して地理的に非常に有利な位置にあるし、文化活動の場としての役割からも現在地で存続すべきではないか。
②今後多くの建物が更新時期を迎えるにもかかわらず、改修等の費用を今までと同額に抑えるのは無理があるのではないか。
都市計画道路整備の延期や将来試算額の見直しにより財源は確保できるのではないかと考えている。

③「公共事業の質を確保し、労働環境を整備するためにも制が必要だと考えるがどうか」
④公契約条例の制定を求める団体が複数ある。速やかな制定が必要ではないか。
市長 ①公契約条例制定について25年度から27年度まで、西多摩地域8市町村における契約担当者で研究会を立ち上げ検討を重ねてきた。28年度以降は各市町村で調査を継続している。公契約で働く方の雇用や労働条件を確保できる一方、労働単価の設定方法や条例遵守の確認等の事務負担の増大、契約金額の上昇等の課題がある。すでに公契約条例を制定している自治体の状況等の把握に努めていく。
副市長 ②すぐに条例制定するのは難しい。職員が公契約学習シンポジウムへ参加する等調査等を行っている段階である。

公共交通の充実について問う

議員 ①平成16年3月に今あるバスを充実させることが第一と意見をもっている。
②地域住民の認知度が低いことも要因と考えており、周知方法の工夫が必要だと考えている。
③東京都市長会を通じて要望している。

④「子育て世代との懇談会が特に好評で、建設的な提案も多かったことから、引き続き開催していく。」
⑤「赤字繰入れの解消計画は策定したが、国保財政等を検証しながら適切に対応していく。」
⑥「少子化対策として国の責任での実施が望ましいことから、市長会を通じて国に要望している。」
⑦「30年度改定では、議員提案により応能割を多くし、低所得者への負担増とならないようにした。」
⑧「人口減少、少子高齢化等社会経済状況が変化する中でも、確実に継承し、充実、発展させていく。」
⑨「文化振興に関する市の取り組みを伺う。」
⑩「多摩26市の文化振興に関する条例等の制定、地方文化芸術推進基本計画の策定の状況を伺う。青梅市でも制定や策定が必要と考えるかどうか。」
⑪「青梅市教育委員会の教育施策」に基づき、郷土博物館や美術館では、文化財の保護・普及活動を行ったり、特別展や企画展等を開催している。また、教育委員会では、芸術文化奨励賞等の交付や青梅市文化団体連盟へ委託し総合文化祭を開催している。
⑫「多摩26市の中で、条例は八王子市や立川市等7市、指針等は町田市等3市が制定している。」

公契約条例の制定を

議員 ①公共事業の質を確保し、労働環境を整備するためにも制が必要だと考えるがどうか。
②公契約条例の制定を求める団体が複数ある。速やかな制定が必要ではないか。
市長 ①公契約条例制定について25年度から27年度まで、西多摩地域8市町村における契約担当者で研究会を立ち上げ検討を重ねてきた。28年度以降は各市町村で調査を継続している。公契約で働く方の雇用や労働条件を確保できる一方、労働単価の設定方法や条例遵守の確認等の事務負担の増大、契約金額の上昇等の課題がある。すでに公契約条例を制定している自治体の状況等の把握に努めていく。
副市長 ②すぐに条例制定するのは難しい。職員が公契約学習シンポジウムへ参加する等調査等を行っている段階である。

①「現在の東青梅市民センターがある場所は災害時の避難に関して地理的に非常に有利な位置にあるし、文化活動の場としての役割からも現在地で存続すべきではないか。」
②「今後多くの建物が更新時期を迎えるにもかかわらず、改修等の費用を今までと同額に抑えるのは無理があるのではないか。」
③「都市計画道路整備の延期や将来試算額の見直しにより財源は確保できるのではないかと考えている。」
④「現在の東青梅市民センターがある場所は災害時の避難に関して地理的に非常に有利な位置にあるし、文化活動の場としての役割からも現在地で存続すべきではないか。」
⑤「今後多くの建物が更新時期を迎えるにもかかわらず、改修等の費用を今までと同額に抑えるのは無理があるのではないか。」
⑥「都市計画道路整備の延期や将来試算額の見直しにより財源は確保できるのではないかと考えている。」

⑦「現在の東青梅市民センターがある場所は災害時の避難に関して地理的に非常に有利な位置にあるし、文化活動の場としての役割からも現在地で存続すべきではないか。」
⑧「今後多くの建物が更新時期を迎えるにもかかわらず、改修等の費用を今までと同額に抑えるのは無理があるのではないか。」
⑨「都市計画道路整備の延期や将来試算額の見直しにより財源は確保できるのではないかと考えている。」
⑩「現在の東青梅市民センターがある場所は災害時の避難に関して地理的に非常に有利な位置にあるし、文化活動の場としての役割からも現在地で存続すべきではないか。」
⑪「今後多くの建物が更新時期を迎えるにもかかわらず、改修等の費用を今までと同額に抑えるのは無理があるのではないか。」
⑫「都市計画道路整備の延期や将来試算額の見直しにより財源は確保できるのではないかと考えている。」

豚コレラへの青梅市の対応について問う

山田 敏夫 議員 (自民)

議員 ①本年9月、岐阜県にて約26年ぶりに国内で豚コレラが発生した。市内の養豚の状況および、豚コレラについての市の認識について伺う。

②国、都から情報提供や対策に関する通知はあったか。市の今後の対応は。

③豚コレラ予防のため、ワクチン接種を義務付けるよう、国、都をはじめとする関係機関へ要請すべきだと考えるがどうか。

市長 ①30年2月1日現在、養豚農家は4戸で、飼養頭数は

562頭である。豚コレラは豚、イノシシの熱性伝染病で、強い伝染力と高い死亡率が特徴で、家畜伝染病予防法で家畜伝染病に指定されている。人には感染せず、平成4年以降、防疫体制が確立され、長い間、発生していなかったものと理解している。

②東京都家畜保健衛生所が発行している「家保通信」により情報提供があった。この通信は養豚農家や獣医師等にも送付されており、飼養衛生管理基準の確認等、注意喚起も行われている。

市では、情報収集をするとともに、市内の養豚農家に対しては都へ協力し、農場の衛生対策の徹底と野生動物の侵入防止等の注意喚起を継続して行っていく。

③国際的にもワクチンを使用しない防疫が主流であること等から、現状では要請は現実的ではないと考える。今後も状況を注視し、国や都の対応方針を踏まえ、市内養豚農家への被害を防ぐため、対応に努めていく。

庁舎で誓う届け出挙式を

鴻井 伸二 議員 (公明)

議員 ①庁舎での届け出挙式実現を。また、他自治体の状況は。②民間企業の支援を受けての実施を検討してはどうか。

③狭山市では、地元企業の協力もあり、経費はほとんどかからなかったそうである。研究を。

市長 ①市に愛着をもつていただく有用な施策になりうると考える。シテイセールスの観点から実施自治体の事例を参考に研

青梅市の経済対策について問う

榎澤 誠 議員 (フォーラム)

議員 ①地域産業の振興策について伺う。

②青梅の特産品の販売向上、地産地消等への支援策を伺う。

③コンパクトシティー等が推進されているが、市の考えを伺う。

④長期的視点から見た市政の健全運営、増収対策について伺う。

市長 ①青梅市商・工業振興プラン、おうめ観光戦略に基づき事業に取り組んでいる。

②市も立ち上げを支援した商工会議所運営の通販サイト「東京いいもの青梅」において特産品を販売する等、販売向上に努めている。また青梅産の農林産物を活用した新たな加工品の開発や販路拡大への支援や学校給食

③コレクシオンの有効活用を図るため、収蔵品台帳の整備を行っている。また、収蔵品の売却等の検討については、寄贈者をはじめ、他の美術館との信頼関係が損なわれる恐れがあるため、現実的には難しいと考えている。公募展は、近年、他の美術館等でも同様の公募展が開催されていることなどから、廃止する方向とした。美術館、郷土博物館の統合を検討する中で、両館の今後のあり方も含め、市民をはじめ、専門家の方々からのご意見を伺いながら、幅広い年代の方々に親しまれる美術館と郷土博物館を目指して、経営改革に取り組んでいく。

青梅市立美術館、郷土博物館の経営改革を

議員 ①市立美術館、郷土博物館の現状と課題について伺う。

②市立美術館のコレクションポリシーを活かす経営改革について伺う。

教育長 ①両館ともに貴重な美術作品や郷土資料を収蔵しているが、収蔵スペースの不足や館内設備の経年劣化等が課題とな

等での提供、JAX西東京との協定による取り組み等行っている。③人口減少、少子高齢化が進展し、財政状況も厳しさを増している。新たな発想でのきめ細かな対応を図っていくことが肝要である。青梅市公共施設等総合管理計画ではコストの削減に努めるとともに機能の充実を図るなど対応を講じている。

④将来の財政負担の軽減を図る一方、青梅インターチェンジ周辺地区の整備等、市税増収策にも取り組んでいる。モーターボート競走事業収入の増や市税等の収納率向上等短期的な対応と総合長期計画等に掲げる長期的視点に立った取り組みを併せて推進することにより、安定した財政基盤の確立が図られるものと認識している。

就学指定校の変更要件の見直しについて問う

議員 ①変更要件の検討経過、変更内容、影響について伺う。

②保護者、地域住民への周知は。③通学路の変更、拡大することへの防犯、交通安全対策は。

教育長 ①通学の安全性、利便性の向上、特定の小・中学校への児童・生徒の集中を避けるため、第三小学校と新町小学校を除き、最短距離の市立小学校への通学を希望する場合には指定校変更を可能とした。野上町、柚木町、河辺町の一部等で平準化を図れることを期待している。

②保護者へは就学児童健康診断通知等、地域住民へは広報おうめやホームページ等により周知している。

③関係機関へ改めて周知を行い、情報を共有する中で、児童・生徒の安全対策を図っていく。

「他の質問：ふるさと納税の取り組みとクラウドファンディングの活用を」

青梅市の観光施策について問う

大勢待 利明 議員 (フォーラム)

議員 ①観光客の増加の要因をどう分析しているか。今後魅力発信するための施策は。

②御岳山、御岳渓谷の観光客は増加している一方、その他の地域は苦戦している。どのような対策を行っているか。

③西多摩の観光客を比較すると直近5年である野市に抜かれ奥多摩町にも迫られている。こ

の状況をどう考えるか。④今後の観光施策について総括的に展望を伺う。

市長 ①リバーアクティビティを楽しむ方の増加や圏央道の開通によるアクセスの向上とともに、観光協会や関係事業者の着実な取り組みの結果だと分析している。今後も青梅ブルーの 프로모ーションを広く展開し、青梅の魅力発信していきたいと考えている。

②観光客が減少している岩蔵温泉や青梅駅周辺では観光協会や関係団体等と連携、協力して活性化を図っている。

③梅の里再生等の取り組みを進め観光客増加を図ってきたい。④青梅の魅力を感じ、楽しめる着地型観光商品、体験型プログラムの開発、広域的な観光振興の取り組みも検討していく。

農業振興と天皇塚水田地域について問う

下田 盛俊 議員 (自民)

議員 ①天皇塚水田地域は稲作に必要な水が不足する状況になつて数十年経つが、現状の課題、展望、対策について伺う。

②畑地化への国、都の支援について伺う。

市長 ①水不足による水田利用の減少、後継者や担い手不足等による未耕作農地の増加が課題となっている。対策として29年度今昔天皇塚水田地籍調査を実施した。今後は調査の結果を活用し、農地保全へ取り組む。

②国の農業基盤整備促進事業や都の小規模土地改良事業等の補

市民協働と環境美化・清掃活動について問う

議員 ①環境美化、清掃活動およびコミュニティ花壇の現状と今後について伺う。

②植樹や花苗は自治会の希望通り提供して欲しいがどうか。

③市内にはコミュニティ花壇と委託により管理する花壇があるが、将来的には委託箇所も協働事業として地域市民が担っていくべきと考えるがどうか。

市長 ①環境美化委員や自治会



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みについて問う

議員 ①今までの市の取り組みについて伺う。

②大会開催まで何をやるのか。③日本やドイツのオリンピック・パラリンピアンを誘致に力を入れてはどうか。

市長 ①オクトーバーフェストやクリスマスマーケットの開催等、ドイツの紹介や交流に取り組んだ。さらに、エクストリームスポーツウィーク等さまざまな事業を実施し、気運醸成を図ってきた。

②これまでの実績を生かした事業展開の検討や、カヌーのキャンプ誘致を進めている。関係機関等と連携を図り、さらなる取り組みを進めていく。

等、多くの市民の協力を得て、公共の場や河川の清掃、除草を行っていただく等、環境美化に努めている。コミュニティ花壇は自治会等が自発的に植栽等行っている花壇で、みどり水のふれあい事業推進協会が花苗や肥料の提供を行ってきた。来年度からは公園緑地課の所管として花苗の提供等を行っていく。

②提供数については自治会等の意向も確認し、花苗の生産者や道路管理者とも協議していく。

③当面は委託によって実施していくが、市民協働の観点から、ボランティア等の協力による実施については、今後の課題と捉えている。

市内幼稚園の認定こども園化について問う

議員 ①現状、課題、今後の展望と対策について伺う。

②都の私立幼稚園特別支援教育事業費補助、特別支援学校等経常費補助は申請期限が短いため、期限内に合わず、補助が受け

られないことがあったと聞いている。市の対応を伺う。

市長 ①現在、市内6園中3園が移行を希望しており、うち1園が平成32年4月の移行を予定している。園の経営の安定化や、利用定員の調整等が課題となる。今後も幼稚園の希望に沿って計画的な移行ができるよう支援を続けていく。

②各幼稚園で申請に必要な医師の診断書の取得に苦慮されていることは承知している。診断書を有する者の報告書等でも代用が可能のため、現在、巡回訪問相談事業において、各幼稚園の要望により、臨床心理士が報告書を作成することで、補助金申請を期限内に行えるよう対応している。

「他の質問：霞川拡幅整備改修と関連課題について問う」

③誘致は気運醸成に非常に有効だと考えている。今後も限りある予算の中、より有効な方策を考えレガシーの構築に取り組んでいく。

住民サービスの向上に人工知能(AI)の導入を

議員 ①人工知能(AI)の導入についての考え、認識を伺う。

②今後導入に向けて取り組んでいくか。

市長 ①人工知能は飛躍的な進化を遂げており、一部の先進的な自治体で人工知能を活用した事例が報告されている。人工知能の活用については、留意すべき点を念頭に置きながら、市民サービスの向上などに取り入れられるよう注視していく。

②国などの動向を踏まえながら、情報の収集、分析を進め、導入環境を整えていく。人工知能に限らず、先進技術や新たな手法による市民サービスの向上を図るよう引き続き取り組んでいく。

審議された議案と議決結果

賛否が分かれた議案

[○…賛成、×…反対]

Table with columns for district, proposal number, name, decision result, and individual council members' votes (1-24).

※ 会派の表示は次のとおりです。 [自民…自民クラブ(無所属9人、自民党2人)、公明…公明党(5人)、改フ…改革フォーラム(無所属3人、国民民主党1人)、共産…日本共産党青梅市議団(2人)、みどり…みどりのオンブズマン(1人)、市民…市民自治青梅(1人)]

全会一致で可決または同意された議案

Table with columns for district, proposal number, and name, listing unanimous decisions.

* 議案等の詳細は市議会ホームページで確認できます。また、本会議の映像も配信していますのでご覧ください。

平成30年市議会定例会平成31年2月定例議会会議予定

Table with columns for date, time, meeting name, and notes, detailing the schedule of council meetings.

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか 青梅市議会ホームページ (http://www.kaigiroku.net/general/omesi/) でご確認ください。

陳情結果の 臓器移植の環境整備に関する意見書の提出を求める 陳情

特別委員会から 特別委員会での主な検討事項等をお知らせします。

贈らない! 求めない! 受け取らない! 政治家、有権者の方々へ